

指定管理業務モニタリング実績評価シート（令和4年度）

1 施設概要	
施設名	山県市総合体育館
所在地	山県市高木1675番地
指定管理者の名称	NPO法人 Team-yamagata Sports Club
指定期間等	平成31年4月1日～令和6年3月31日 5年間 4年目
施設の設置目的	恵まれた体育環境の中で、屋内・屋外活動を通じて、人と人との交流を図るふれあいの場としての利用に供することを目的として、設置されたものであるという理念に基づき運営すること。
業務内容	<p>体育施設の管理運営は、次に掲げる方針に沿って行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公の施設としての位置づけを理解し、効率的かつ効果的な管理運営を行い管理経費の縮減に努めること。 2. 利用者の公平な利用の確保及び安全に配慮するとともに事故防止に努めること。 3. 利用促進に努めるとともに、利用者の満足度を高めるようサービスの向上に努めること。 4. 地元市民の雇用に努めるなど、地域の活性化につながる事業を行うこと。 5. 市と密接に連携を図りながら、管理運営行うこと。
施設概要（施設内容）	<p>①山県市総合運動場（総合体育館・多目的グラウンド・テニスコート） ②山県市高富体育館 ③山県市梅原スポーツランド（グラウンド・テニスコート） ④山県市大桜グラウンド ⑤山県市伊自良総合運動場（多目的グラウンド・テニスコート） ⑥山県市美山総合運動場（夜間閉鎖） ⑦山県市葛原体育館（閉鎖）・運動場 ⑧山県市みやまジョイフル倶楽部（体育館） ⑨山県市美山テニスコート ⑩山県市谷合運動場 ⑪山県市富波体育館・運動場 ⑫山県市乾体育館・運動場</p>
施設所管課の名称	山県市生涯学習課

2 管理実績					
項目（単位）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計（人）	218,729	210,797	123,429	147,205	183,389
利用料金合計（円）	20,404,313	19,886,434	12,636,605	14,282,611	18,282,743
利用率（％）	-3%	-3%	-37%	13%	25%
指定管理期間（期）	第3期 (H26-H30)	第4期 (R元-R5)	第4期 (R元-R5)	第4期 (R元-R5)	第4期 (R元-R5)
()					

主な成果 (自主事業含む)	使用(利用)料収入 目標 15,000,000 円 → 実績 18,282,743 円
	利用者数 目標 150,000 人 → 実績 183,389 人
	【主な自主事業実施による成果】 消耗品の購入をネット販売等利用しお値打ちに購入。 管理施設の必要修繕箇所の早期把握、早期修繕に努め、利用者に良質なサービス提供を実施することができた。

3 評価		
指標	評価	コメント
利用者の公平性の確保	B	スポーツ施設予約管理システムの活用により、利用者の公平性が保持されている。
事業・業務の履行状況	B	日頃から、光熱水費や消耗品の購入に際し経費削減に尽力しており、創意工夫により経費の節減等を図り、自主的に施設の修繕や備品の更新を図っている。
利用者満足度の向上度	B	トレーニングルームの利用に関するアンケート結果については、利用者の満足度は良好であるが、各施設の利用状況に関するアンケートにおいては、利用者のニーズ等を把握していく必要があるため、調査手法を検討していく必要がある。
財務状況の適正性	B	適正であると認められる。

評価の目安

【利用者の公平性の確保】【事業・業務の履行状況】【利用者満足度の向上度】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式1、2)における評価を基に次の基準により評価する。

- A(優): 高く評価できる。
- B(良): 実施している。適切である。
- C(可): 概ね実施している。一部改善を期待する。
- D(不可): 実施していない。改善を要する。

【財務状況の適正性】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式3)における内容について、次の基準により評価する。

- A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選定委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」もしくは「重大な懸念がある」とされた場合
- ※ 客観的評価として以上の基準によりA・B・C・Dを判定し、選定委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

4 指定管理者候補者選定委員会による評価

講 評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の利用優先と、各施設の利用者増の両立は決して簡単ではないが、利用率の低い施設の積極的な情報発信などにより、施設全体の稼働率向上を期待する。 ・ あまり利用のない施設の維持管理・草刈りの負担は大きいと思われるので、今後の活用等を考えていく必要があると思われる。 ・ 営業時間の短縮もされているようであるが、諸費高騰の折、料金値上げも視野に入れ、理解を得て更に充実できる施設運営も必要かと思われる。 ・ 避難訓練や講習会など、計画的に取り組まれているが、災害時の拠点となることを想定した関連機関との連携と、危機管理の措置対応のさらなる充実を期待する。 ・ 市民がもっと気軽に利用できる環境を整えていただきたい。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------